

特定非営利活動法人日本防災士会
事務局長

NO、1

様

NPO法人日本防災士会・参与
熊本県支部・支部長 宮下 正一

令和2年7月豪雨災害に伴う被災者支援について(報告)

拝啓、霜降の時期になりましたが、コロナウイルスに負けず如何お過ごしでしょうか。

今回、防災士会熊本県支部は、山間部に位置する熊本県球磨郡球磨村渡乙地区と人吉市の市街地に位置する人吉市全域が日本三大急流の一つであり、一級河川の「球磨川」流域が折からの記録的短時間大雨によりまして、多数の死者と行方不明者が出まして、(今でも捜索中)の球磨川(河川幅約100m)が直ぐに大雨豪雨により全地域が短時間で氾濫したそうです。球磨村の人口は3,552人ですが、約40%~50%位の村民の家屋全体が呑み込まれ被災者・被災地に成っています。

私達がJR肥薩線渡駅に着いて駅舎を見たところ待合室の1階部分の天井まで水没した痕跡があり、駅前の信号機の真横に設置してある案内表示板の下端(高さ3,2cm)まで「濁流が来た」と球磨村在住の防災士の今村氏が教えてくれました。それから皆さんもニュース等で見られた球磨老人ホーム「千寿園」を見ましたら、建物は薄汚く成り壁には、汚泥のシミが媚びり付き、誰かがゴミクズ線を引いたようにはっきりと残っていました。「千寿園」の建物と表示看板前に整列し、参加した防災士全員で「黙禱」を捧げて、亡くなられたの方々のご冥福を祈りました。今回、防災士会東京本部から、「土のう袋」等や更に支援活動支援品を頂き、又奈良県支部からは沢山の衣料品(男女の肌着を200人程度頂きまして又熊本県出身の奈良県在中の支援者からは不織布マスク500枚を丁寧に協力した頂き、人吉・球磨地域の大雨豪雨被災者の皆さんに準備しました。その後、球磨村さくらドーム(球磨村大雨災害対策本部)を尋ね日本防災士会・熊本県支部で準備した支援物資①タオル1,000枚・マスク1,000枚(子ども用含む)・飲料水(200ml)5箱男性用トランクス(30枚)・靴下(30足)・女性用肌着ストッキング・ショーツ(50枚)・土のう袋(600枚)・乳児用液体ミルク24缶入り1箱・紙コップ・蚊取線香等を支援物資保管場所に提供し、球磨村長(本部長)松谷浩一氏にお会いしまして、村長室にて被害に対する支援物資届けと労いの言葉を丁寧にお掛けまして、防災士8名で、「防災・減災活動を通じて、「防災士の役割」等のボランティア活動を実施します」と伝えました。以上で1個所目の支援活動報告を終わりますが、防災士会は今でも被災地の後方支援活動を続けています。

参考のためにお伝え致しますが、熊本県支部は4年4か月前に前震マグニチュード6.5が発生しまして、翌々日M7.3(前震の16倍のエネルギーが加わった規模で大地震が寝静まった深夜1:25に発生しまして、その場で身動きも出来ない揺れで家具やテレビ・冷蔵庫・洗濯機及び茶箆筥・本棚等が倒壊してベッド近くに置いていた携帯電話や懐中電気などは散乱してしまふ生命の危険を感じるような体験をしまして、震源地の益城町宮園地内に有ります、益城町役場庁舎の益城町立公民館前の駐車場に益城町長の許可を頂き、熊本地震現地支援本部を立ち上げまして、私が現地支援本部長を務めて、北は北海道から南は沖縄県までの全国の防士約800名が支援活動に参加協力して頂き、町内の約1,000戸の被災家庭の後片付け(落下した瓦・空洞ブロック塀・内部の鉄筋・石積みの崩れた転石等)を沢山の運搬処理のボランティア活動を熊本地震の被災者のために2ヶ月間毎日行いました。

今回の熊本県地区の大雨豪雨災害地では、大きな避難所も沢山ありますが、1階は浸水してメチャメチャに成ってしまふ生活不能なので不慣れで不便な2階で避難生活をされたり、不便な車中泊を1級河川の球磨川の氾濫以来6日間連続で続けられてしまふ、自然災害の怖さの中で戦々恐々の気持ちで暮らされてしまふ。

そのような被災者の皆さんが、自宅に帰った後に亡くなられる被災者が増える可能性があり、被災地でまったく先が見えない状況に成ってしまふ。

ようやく役場の方で、仮設住宅(プレハブ)や日本ムービングハウス協会の支援活動でトレーラハウスの配置等が進み始めてごく僅かですが少しずつ復興に向かいつつあります。

今後も防災士会では、被災者に寄り添いながら悩みごとや相談などに協力しまして後方支援活動を行います。

これまで4回の現地での支援活動を行っていますが、コロナ禍を無事に収まれば人的・物的支援活動を再度実施したいと考えてしまふ。

今現在の被災者・被災地状況は、

熊本地震

○ 現在の入居世帯 約60世帯

令和2年7月大雨豪雨の災害状況(球磨川水系)

公費解体の進捗状況 9月末現在

八代市・・申請296件 ・ 完了率81, 1%
芦北町・・申請410件 ・ 完了率78. 8%
人吉市・・申請1, 190件 ・ 完了率80, 9%
球磨村・・申請 366件 ・ 完了率55, 8%

◎ 災害(復興)ボランティアセンター関係状況

八代市・・10/15・16
道路側溝・公民館の作業を含む
人吉市・・10/2から再開 10/9活動(ボラ28名)
球磨村・・10/16から活動予定 ボラ25名ほど予定
10/16 活動予定

高速道路無料措置

2021年10月末まで延期
熊本県によると現在NEXCOさんと調整中
公費解体終了まで延長の方向
おそらく年末まで延長になるのではなか

ボラセンの継続している市町村は使用可能
対象範囲は、ボラセン対象範囲に限る。
活動団体用に共有会議でも、印鑑は設置しれいる。
社協関係している活動に関してはKVOADにて押印可能

(くまもと災害ボランティア団体ネットワークの略)

連絡事項:

先日、熊本県支部4人の防災士と懇談頂きまして
その時熊本県支部の事務局長荒木逸治氏を指名し
ましたが、「本人は静かでおとなしい性格」と思いますが、
「年齢的に教職員を退職されたばかりの防災士会員」です
から、山中事務局長様には、「少し寛大に判断して頂きま
して」熊本県支部の荒木事務局長を努めて行くと思います。

敬 具

乱文乱筆にて失礼します。